

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(令和2年度分)

施設名 松江歴史館・松江ホーランエンヤ伝承館
 指定管理者 株式会社山陰中央新報社
 担当課 松江歴史館
 指定期間 平成28年4月1日～令和3年3月31日

1. 総合評価

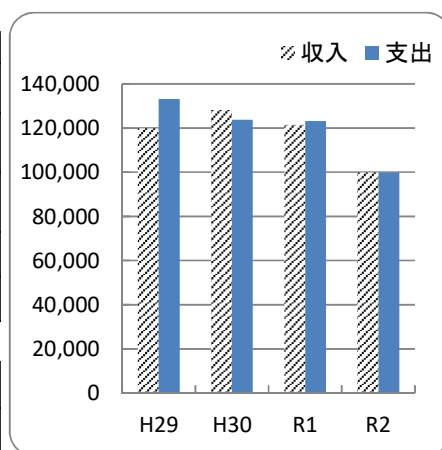
市	A	【優れていると評価した点】 コロナウイルスの感染拡大防止に向けて迅速かつ柔軟に対応し、適切な施設管理を行った。また、イベントや自主事業も感染対策が可能なもので適切に実施した。
	A	【評価できない、または改善すべき点】 イベントや企画展を周知するためには、PRのための時間を十分にとることや、チラシ・ポスターの配布先の選定を適切に行うことなどが必要であり、効果的な広報やPRを行うためにいっそうの工夫が必要である。
指定管理者	A	【優れていると評価した点】 本年は職員を1人増やして事務所を7人体制にし、事務や施設維持の迅速処理を心掛けた。広報も本紙紙面を中心に、企画展に対応した記事特集や広報資料を提供し他メディアに対してもニュース化を図った。接遇面もアンケートでは良い評価をもらっている。危機管理面も避難経路の確認を全員で確認したり、消火訓練も行い、経験を積んだ。
	A	【評価できない、または改善すべき点】 収支の赤字は電気料金の積算と実態の乖離にある。節電に努力しているが、24時間稼働する収蔵庫、機械室などの度合いが大きく、打つ手がない。仮に電気料金が仕様書どおりの額なら、広報などを圧迫することなく、概ね指定管理料の範疇、計画に収まる執行、運営ができています。また、電気料金の積算との差額をすべて指定管理者が負うべきものなのか疑問を抱かざるを得ない。イベントや自主事業は新型コロナの影響で実施できないものも多かったが、対策を取りながらできるものを選び、実施した。開館して10年経過し設備機器の経年劣化が目立ち、修繕費もオーバーした。

2. 施設利用の増減について

総括	【松江歴史館】
	入館者は72,485人(前年度比39%)、観覧者数は28,094人(前年度比52%)であり、前年度を大きく下回った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月10日午後から5月31日まで臨時休館した。営業再開後も外出自粛により入館者・観覧者数ともに低迷した。各種イベント等も中止したため、新型コロナウイルス感染症が施設利用の減少に大きく影響した。
	【松江ホーランエンヤ伝承館】
	入館者数は4,372人(前年度比30%)であった。松江歴史館と同様に、4月10日午後から5月31日まで臨時休館した。営業再開後も外出自粛が大きく影響した。

(1) 収支状況の推移

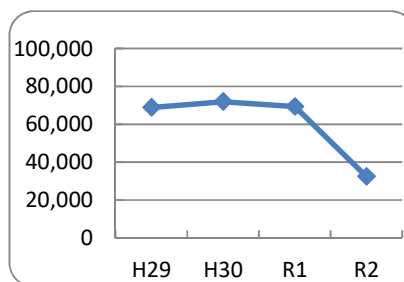
		(千円)			
項目\年度		H29	H30	R1	R2
施設の収支	収入	119,889	127,951	121,379	99,868
	うち指定管理料	77,757	77,757	78,197	78,586
	うち利用料	0	0	0	0
	支出	133,159	123,765	123,110	99,968
	差引	△ 13,270	4,186	△ 1,731	△ 100
上記以外の市の収入、支出					
市の収支	収入(使用料)	12,790	16,263	14,487	6,810
	支出	22,799	21,631	19,743	19,277
	うち市の修繕費	12,676	4,676	4,991	3,058



(2) 利用者の推移

(人)

H29	H30	R1	R2
68,848	71,920	69,365	32,466



【参考】産出指標(アウトプット)・成果指標(アウトカム)の達成状況

指定管理者が管理する公の施設は、市の施策を実現するために設置されたものですが、その設置目的の多くは抽象的なものとなっています。この設置目的を効果的に実現するためには、市が目標(指標)を具体的に示し、指定管理者と共有した上で施設の管理運営を行うことが大切です。

さらに、目標(指標)がどれだけ達成されたかを客観的に評価するため、指定管理者の活動の結果(アウトプット)や活動からもたらされた成果(アウトカム)を数値化し、市民の皆さんへ公表します。

- 〔 A 基準値 : 指定管理者募集の際に、市が提示した指標の値
- 〔 B 目標値 : 市が提示した基準値に対し、申請時に指定管理者が提案した値
- 〔 C 実績値 : 実績の値

分類	指標	A 基準値	B 目標値	C 実績値	目標に対する 達成度 C/B	基準に対する 達成度 C/A
アウトプット	歴史館入館者数(年間)	200,000	200,000	72,485	36.2%	36.2%
	同観覧者数(同)	70,000	70,000	28,094	40.1%	40.1%
	伝承館入館者数(同)	14,000	14,000	4,372	31.2%	31.2%
	歴史館観覧料収入(同)	19,000,000	19,000,000	6,046,576	31.8%	31.8%
	伝承館入館料収入(同)	200,000	200,000	107,320	53.7%	53.7%
	モニタリング(満足度)	70	70	90	128.3%	128.3%
アウトカム	モニタリングでの肯定的回答割合(%)			90		
				達成度 平均	53.6%	53.6%

達成度 に対する 意見	指定管理者	市
	【達成度に寄与した・有効だった取組みの内容、次期に向けた課題】 歴史館・伝承館とも新型コロナウイルスによる自粛で運営への影響が大きかった。イベントなど誘客については制限があるなかでも、できるだけ実施する方向で臨んだ。最後の自主事業企画「光で遊ぶ道具たち」では、展示室のパネル配置や体験コーナーの設置、照明を使った演出など初めての試みを行い、今後の展示方法の可能性を提案することができた。	【達成度の原因・分析】 コロナウイルスの感染拡大防止で休館や自主事業の企画展の中止など運営への影響が大きかった。

(3)利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、 施設管理やサービスにつ いて	主な意見
755件	①満足している 678件(90%) ②どちらともいえない 74件(9.9%) ③満足していない 3件(0.1%)	①良い スタッフの丁寧な対応がうれしかった。常設展示は面白かった。 ②苦情 常設展示の順路が分かりにくかった。 ③要望 伝承館の映像のピントがあってなくて見にくい。改善を。

(4)住民サービス向上の事例

開館10周年に合わせ、前年度は実施を見送った両館の無料開放を実施(3月13日、14日)した。一方、縁日など子供向けのものや、無料コンサートなどはコロナ対策で開催できなかった。

3. 自主事業

総括	喫茶「きはる」、ミュージアムショップは、コロナの影響で客足は落ち、喫茶の席数のほか人員減、営業時間短縮で対応したが減収減益。自主事業の企画展「光で遊ぶ道具たち」は有料で実施した。
実施状況	喫茶「きはる」、ミュージアムショップ「縁雫」の運営▽企画展「カラーアニメーションの源流 光で遊ぶ道具たち」を有料で開催(2月21日～3月21日)。観覧者1,676人▽企画展関連「錦影絵と落語会」を県民会館と共催で開催。また、地元ボランティアによる影絵劇を歴史館企画展示室で4回実施▽小学生生活弁士無声映画上映▽千体不動尊お守り製作販売など

4. 特記事項

特になし

5. 今年度の目標・課題

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で県外からの観光客が減少している状況からも、市民へのアピールが一層必要である。展示の案内等、各種広報を充実し、入館者数・観覧者数の確保に努めたい。